

平成28年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	さいたま市南浦和コミュニティセンター外5施設
(2) 施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区大谷場2丁目6番25号(さいたま市南浦和コミュニティセンター) さいたま市中央区本町東3丁目5番43号(さいたま市与野本町コミュニティセンター) さいたま市中央区上峰2丁目3番5号(さいたま市上峰コミュニティホール) さいたま市中央区桜丘2丁目6番28号(さいたま市西与野コミュニティホール) さいたま市中央区大字下落合1712番地(さいたま市下落合コミュニティセンター) さいたま市浦和区東高砂町11番1号(さいたま市浦和コミュニティセンター)</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設として設置</p> <p>③施設の概要 (さいたま市南浦和コミュニティセンター) 【開館】平成3年4月 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上3階建 【敷地面積】2,822㎡ 【延床面積】1,495㎡ 【主要施設】体育館(定員167名)、レクリエーション室(定員50名)</p> <p>(さいたま市与野本町コミュニティセンター) 【開館】昭和56年3月 【構造】鉄筋コンクリート造 地上1階建 【敷地面積】6,249㎡ 【延床面積】2,539㎡ 【主要施設】多目的ルーム(大)(定員290名)、和室(定員60名)</p> <p>(さいたま市上峰コミュニティホール) 【開館】昭和59年9月 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建 【敷地面積】558.08㎡ 【延床面積】316.91㎡ 【主要施設】会議室(定員18名)、調理室(定員12名)</p> <p>(さいたま市西与野コミュニティホール) 【開館】平成4年7月 【構造】鉄筋コンクリート造 地上2階建 【敷地面積】1,629㎡ 【延床面積】1,410㎡ 【主要施設】多目的ルーム(定員150名)、第1会議室(定員36名)</p> <p>(さいたま市下落合コミュニティセンター) 【開館】平成15年5月8日 【構造】鉄筋コンクリート造 地上20階建のうち3階・4階部分 【延床面積】991.66㎡ 【主要施設】多目的ルーム(定員108名)、調理室(定員12名)</p> <p>(さいたま市浦和コミュニティセンター) 【開館】平成19年10月25日 【構造】鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上10階建のうち9階一部・10階部分 【延床面積】4,239.76㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員400名)、レクリエーションルーム1(定員45名)</p>
(3) 指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成26年度176,391千円、平成27年度176,391千円、平成28年度178,068千円</p>

<p>(5) 施設の管理運営の内容</p>	<p>① 運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇ 利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 780,181人(前年度840,695人) ・利用率67.0%(前年度73.7%) <p>◇ 業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施 ・コミュニティ活動等の情報提供・相談対応 ・施設の貸し出し <p>② 維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備等の保守管理及び修繕を実施 <p>③ その他の業務</p> <p>【自主事業(さいたま市南浦和コミュニティセンター外5施設)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅でできるホームトレーニング(30)、男の料理講座(46)、合唱講座(20)、ハワイアンキルト講座(15)、夏休み学びの広場(30)等、各種講座を開催 ・その他、市主催「さいたまトリエンナーレ2016」市民プロジェクト事業として、「ダンスパフォーマンスコレクション」(215)を開催(与野本町) <p>※()内の数字は、参加者数</p>
<p>(6) 収支状況</p>	<p>① 収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料178,068千円 (前年度176,391千円) ・自主事業収入1,815千円 (前年度2,005千円) ・その他収入2,739千円 (前年度3,937千円) <p>② 支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費102,392千円 (前年度101,153千円)本部人件費含む ・事務費724千円 (前年度724千円)本部物件費 ・施設管理費70,321千円 (前年度72,129千円)貸館 ・自主事業費3,024千円 (前年度2,851千円)自主
<p>(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール用の高さを測るスケールが欲しいとの要望があり、購入した。(南浦和) ・聴覚障害者団体より空調設備についての要望があり、各施設内で操作が行えるよう対応した。(浦和) ・その他、各館に寄せられる様々な意見・要望に対し、速やかにその内容を検討し、対応するよう努めた。
<p>(8) その他</p>	<p>地域連絡協議会を年2回開催し、地域コミュニティの推進と社会福祉の向上を図るとともに、同協議会にて提案された意見・要望などを生かし、市民ニーズに即応した円滑な施設運営を行った。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
コミュニティ活動・生涯学習活動の支援となる自主事業の企画及び実施	各種講座や普通救命講習等を開催したほか、コミセンまつりやコンサートなど、合計88事業を実施し、23,842名の参加者を得た。 また、市内17のコミュニティセンターと2つのプラザにおいて、地域支援の場の提供を目的とした「ぐるりパネル展～みなさんの活動をひろく広報しましょう～」を市民活動サポートセンターと共同開催した。
コミュニティ活動等の情報提供・相談対応事業	事業団ホームページや事業団情報誌SaCLaの発行により、施設で実施する講座等を紹介するとともに、コミュニティセンターだよりを月1回発行し、施設の利用情報や、施設を取り巻く地域の情報を掲載し、市民への情報提供に努めた。 また、施設利用に関する案内以外にも積極的に対応するため、市民相談コーナーを設置し、問題解決のための情報を提供するとともに、関係機関の紹介を速やかに行った。
施設の貸出	パソコンが苦手な方のために予約の補助、代行を行うとともに、接遇研修の受講等を生かし、丁寧な接客を心がけ、施設利用者及び利用率の増加に努めた。 また、利用する施設以外のコミュニティ施設で利用申請及び入金することができる「他館申請」サービスにおいては、全施設の合計で4,923件、6,076,300円を取り扱った。
施設維持管理	指定管理協定書の維持管理計画表に基づき、施設・設備等の保守点検や清掃を実施するとともに、適切な修繕を行い、安全かつ快適な環境整備に努めた。 また、電気・水道・ガス等の省エネに取り組み、光熱水料費の削減を図りつつ、管理運営に必要な物品等について、できる限り再生品を購入するなど、環境負荷の低減に努めた。
市施策事業との連携	与野本町コミュニティセンターでは、市が主催する「さいたまトリエンナーレ2016」の関連事業である「市民プロジェクト 文化芸術 inさいたま ダンスパフォーマンスコレクション」へ職員の派遣等を行うなど連携を図った。 また、下落合コミュニティセンターでは中央区の大正時代まつりとコミセンまつりを同時開催し、大正時代まつり写真展やお茶会を行ったほか、南浦和コミュニティセンターでは南浦和公民館と共催で文化祭を開催するなど、連携を図った。
利用者満足度調査	施設利用者には「職員の対応」・「施設・整備」等について、講座参加者には「講座内容」・「今後の希望」等について、それぞれアンケート調査を実施し、利用者の満足度向上に向けて改善を図った。 また、アンケート結果や改善内容については、自由に閲覧できるように受付窓口に設置した。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

利用者が安心・安全、かつ快適にご利用いただけるよう、法令に基づく法定点検のほか、設備や備品等の適正な維持管理に努めた。また、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)を具体化した「コミュニティ振興プラン」に基づき、地域において学習できる環境及び市民・団体同士が交流を深めることができるような事業を実施した。
今後においては、地域の意見を取り入れながら適切な施設運営に努めるとともに、広報活動の強化を図り、利用者の増加に努めてまいります。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 (B) ※A~D

- ・南浦和コミュニティセンターは、公民館との併設施設であるが、公民館職員と協力しながら管理運営している。
- ・与野本町コミュニティセンターは、利用者からの要望に対し、できる限り対応しようとする姿勢が見られ、また、館内だけでなく花壇等の施設周りも綺麗に保つ取組がなされている。
- ・上峰コミュニティホールは、自主事業で近隣事業者と連携するなど、新しいことに取り組む努力が見られる。また施設環境整備や用具整備を行い、利便性の向上に努めている。
- ・西与野コミュニティホールでは、職員で部分的に壁紙を貼って綺麗に整えたり、植栽の剪定を行ったりしている。
- ・下落合コミュニティセンターは、館内の清掃が行き届いており、備品も綺麗な状態である。館独自の事業を企画し、また地域との連携もできている。
- ・浦和コミュニティセンターは、利用件数・利用者数が特に多く、管理運営で大変なところがあるが、適切に運営できている。立地を生かし、広く人々が交流できるように工夫している。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実と、市民との協働が図れるよう、コミセンまつりをはじめとする自主事業の積極的な展開するとともに、適切な管理運営を行うよう指導していく。